



眞野 和久 議員

## 医療費無料化拡大―新市長に問う

### 質問

現在、市内のあちこちから「高齢者はかりで不安だ」との声を聞く。災害だけでなく、日常の側溝掃除なども深刻な問題となっている。若い世代に定住してもらい、市や地域の運営に参加してもらおう。市の活性化、まちづくりを担ってもらうことが必要ではないか。

### 市長

若い方に、子どもに住んでもらえると、地域は明るくなって活性化してくる。市としても、他市よりも進

んでいる事業など、いい部分のPRを進めていきたい。

### 質問

子どもの医療費無料化の拡大は、子育て支援だけではなく、まぜまぜの視点から進めてはどうか。

### 市長

現時点では考えていないが、状況を見ながら検討していくべき事案である。

### 質問

中学生まで実施している自治体に財源的な余裕があるわ

けではない。市長の判断が重要で、政策的な優先順位を上げてほしいが、どうか。

### 市長

どこからか捻出しなければならぬ。全事業、サービス

## 地域に合った具体的な災害対策を

### 質問

自主防災会連絡会は、いつからやるのか。防災訓練の事例などの勉強会の形や相互の見学などから始めればよいのでは。

### 質問

永和地区では、2メートルも水につかっってしまうが、根本的に市がどう対応するかが問われてくる。地元からの要望を期待するだけでなく、事実をきちんと市民に考えてもらうことが大事ではないか。自分を守るといっては本当に大事だが、そのためには何が起るか一定の想像と情報がないとできない。

### 総務部長

進め方について、情報提供も踏まえた中で、その地域に合ったやり方を確立していく必要がある。どういった方法・手段を用いてやっていくかについては、しばらく研究させてほしい。

を再検証して、今必要であるかどうか、そういった部分も含めて検証していきたい。

